

## 「車いすで巡る七尾の旅 2017・in 和倉温泉」の発行にあたり

2009年に羽咋駅、七尾駅に階段昇降機が導入されたことに伴い、施設の現状について写真撮影と取材を行い、各地の福祉まつりなどに展示を行いました。展示後、カラーコピーで10部程度、作成して友人等に配布しました。3年前から障害者作業所に印刷・製本を依頼して冊子として作成しました。今回で3冊目になります。

今年(2017年度)は、和倉温泉駅、加賀屋などのバリアフリー状況を取材させていただきました。和倉温泉の取材を思いついたのは、知人からもっと他人のしないこと、思いもつかないことはどう? 例えば「日本一のお宿、加賀屋への取材・バリアフリー体験」はどうか? 皆さんが興味を持って見てくれるかも、とアドバイスをいただきました。

私は最初は乗り気になれませんでした。しばらく考え、誰かに助けを求めれば取材は可能になると思い、以前からお付き合いのある和倉温泉観光協会に計画書を添えてメールで問い合わせをしてみました。

問い合わせ後、和倉温泉観光協会から「取材活動の協力」を承諾していただき、3月中旬から取材活動に向けて具体的な日程、計画書を作りました。また、加賀屋との取材活動の協力についてもお願いし、加賀屋から承諾をいただきました。「不可能」と思っていたことが周囲からの支援を受けることにより「可能」になることがわかりました。

加賀屋なら青山彩光苑から介護タクシーで15分ぐらいで行けますが、今回はあえて、のと鉄道で七尾から和倉温泉駅まで乗車し、のと鉄道の車両内、和倉温泉駅の構内、和倉温泉街のバリアフリー状況等も取材しました。当日は風が強くて寒かったので、手が強ばり電動車いすの操作が出来なくなり、介助者の谷内さんに押しいただきました。

取材や展示にご協力を賜りました、交通機関・和倉温泉旅館業・事業所・和倉温泉観光協会、取材及び写真撮影ボランティアの谷内さんのご協力に厚く御礼を申し上げます。

なお、この冊子はバリアフリーが広がることの一助となればと思います。そのためのご意見・ご感想をただければうれしく思います。

障害者支援施設「青山彩光苑」

利用者：桶屋 善一